

# JIS

## 熱硬化性プラスチック一般試験方法

JIS K 6911-1995

(2006 確認)

平成 18 年 2 月 20 日付け追補 1 あり

平成 7 年 5 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 高分子部会 熱硬化性樹脂専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	島村 昭治	工業技術院機械技術研究所
	牧 広	工業技術院製品科学研究所
	小沢 文夫	工業技術院電子技術総合研究所
	金子 剛	財団法人日本電気用品試験所
	平河 喜美男	通商産業省基礎産業局
	藤岡 達慈	工業技術院標準部
	矢島 一郎	日本プラスチック工業連盟
	鹿毛 紀久雄	プラスチック標準試験方法研究会
	松前一 義	日本電信電話公社武蔵野電気通信研究所
	宇佐美 民雄	日本国有鉄道技術研究所
	金田 栄一	東芝強化プラスチック工業株式会社
	宮内 正夫	社団法人日本電機工業会
	鈴木 武教	株式会社富士通研究所
	桐山 可一郎	沖電気工業株式会社電子デバイス事業部
	和田 守叶	東京芝浦電気株式会社総合研究所
	村井 真三次	住友ベークライト株式会社技術本部
	木村 清	台和化学株式会社
	森井 賢作	松下電工株式会社四日市工場
	三田 茂延	不動化学工業株式会社硬化性樹脂事業部蒲田工場
	高尾 俊行	三菱瓦斯化学株式会社電子材料事業部
	塩浦 祥朗	日立化成工業株式会社業務部
	福見 順	合成樹脂工業協会
	大出 讓	財団法人日本プラスチック検査協会
(事務局)	青木 誠治	工業技術院標準部繊維化学規格課
	田仲 信夫	工業技術院標準部繊維化学規格課
(事務局)	小林 勝	工業技術院標準部繊維化学規格課(平成7年5月1日改正のとき)
	砂川 輝美	工業技術院標準部繊維化学規格課(平成7年5月1日改正のとき)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 37.1.1 改正：平成 7.5.1 確認：平成 13.10.20

官 報 公 示：平成 13.10.22

原案作成協力者：合成樹脂工業協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 高分子部会 (部会長 三田 達)

審議専門委員会：熱硬化性樹脂専門委員会 (委員長 島村 昭治) (昭和54年12月1日改正のとき)

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 用語の定義	1
3. 試料の採取方法及び試験片の作り方	3
3.1 試料の採取方法	3
3.2 試料片の作り方	3
4. 試験項目	4
5. 試験方法	11
5.1 試験の一般条件	11
5.2 見掛け密度及びかさばり係数	11
5.3 流れ	13
5.4 成形性(成形材料)	15
5.5 寸法	16
5.6 そり率又はねじれ率(積層板)	18
5.7 成形収縮率及び加熱収縮率(成形材料)	19
5.8 耐電圧(成形材料)	21
5.9 耐電圧(積層棒)	22
5.10 貫層耐電圧	22
5.11 沿層耐電圧	24
5.12 絶縁抵抗	26
5.13 抵抗率	29
5.14 誘電率及び誘電正接	30
5.15 耐アーク性(成形材料)	35
5.16 硬さ(成形材料及び積層板)	36
5.17 曲げ強さ及び曲げ弾性率	38
5.18 引張強さ	42
5.19 圧縮強さ	44
5.20 シャルピー衝撃強さ(成形材料)	47
5.21 アイゾット衝撃強さ(積層板)	50
5.22 へき開強さ(積層板)	52
5.23 加熱後の外観	53
5.24 耐燃性	54
5.25 熱膨張	57
5.26 吸水率	57
5.27 煮沸吸水率(成形材料)	59
5.28 比重	60
5.29 耐アセトン性(フェノール樹脂の場合に限る。)	60

	ページ
5.30 耐煮沸性(成形材料) .....	61
5.31 耐硫酸性(メラミン樹脂成形材料の場合に限る。) .....	61
5.32 耐薬品性(成形材料) .....	61
5.33 遊離水分(成形材料) .....	62
5.34 加熱時の曲げ強さ(積層板) .....	63
5.35 荷重たわみ温度 .....	63
解説 .....	67

## 熱硬化性プラスチック一般試験方法

K 6911-1995

(2001 確認)

## Testing methods for thermosetting plastics

1. 適用範囲 この規格は、熱硬化性プラスチックの一般試験方法について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS B 1352 テーパーピン
- JIS B 4410 テーパーピンリーマ
- JIS B 7502 マイクロメータ
- JIS B 7503 ダイヤルゲージ
- JIS B 7507 ノギス
- JIS B 7512 鋼製巻尺
- JIS B 7513 精密定盤
- JIS B 7514 直定規
- JIS B 7516 金属製直尺
- JIS B 7601 上皿天びん
- JIS B 7726 ロックウェル硬さ試験機
- JIS C 1102 指示電気計器
- JIS C 1302 絶縁抵抗計
- JIS C 2320 電気絶縁油
- JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材
- JIS K 8034 アセトン(試薬)
- JIS K 8951 硫酸(試薬)
- JIS R 3503 化学分析用ガラス器具
- JIS R 6252 研磨紙
- JIS Z 8101 品質管理用語
- JIS Z 8401 数値の丸め方
- JIS Z 8801 試験用ふるい

2. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって参考として併記したものである。

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 見掛け密度 単位体積当たりの成形材料の質量。
- (2) かさばり係数 成形品の密度を、成形品に使用した成形材料の見掛け密度で除した数値。かさばり係数は、成形するのに要した成形材料の体積を成形品の体積で除した数値に等しい。
- (3) 遊離水分 成形材料を室温で乾燥させることによって失われる水分。
- (4) そり率 辺に平行方向に凹状又は凸状に変形することをそりといい、長さ1000 mmに対する最大そりの百分率。